

飯山高校 1 学年

SSI・探究基礎 年間指導マニュアル

SSI・探究基礎共通		
第 1 回	ガイダンス	
第 2～4 回	実験室の使い方/情報リテラシー演習（図書館）/城山フィールドワーク	
第 5 回	GoogleClassroom ガイダンス/探究基礎演習「先行研究調査」	
第 6～7 回	自然観察フィールドワーク 事前学習	
第 8 回	自然観察フィールドワーク 事後学習	
第 9～10 回	探究の基礎演習「探究の流れ」	
第 11～13 回	データの分析	
第 14 回	SSH 講演会「クリティカルシンキング」	
第 15 回	長野県立大学・北信地域振興局 コラボ授業	
第 16 回	SSH 講演会兼サイエンスツアー事前学習「飯山地域における気候変動とその影響」	
第 17 回	サイエンスツアー・秋のフィールドワーク 事前学習	
(行事)	サイエンスツアー・秋のフィールドワーク 事後学習	
	SSI	探究基礎
第 18～22 回	課題発見プログラム	わくわくサイエンス教室
第 23 回	SSH 講演会「科学的検証法と科学の可能性」 / 研究倫理演習	
	SSI	探究基礎
第 24～30 回	ミニ課題研究	課題研究スタートアッププログラム
第 31 回	1 学年課題研究合同発表会	

単元・テーマ	課題発見プログラム① 人文・社会科学分野の思考力の鍛錬	
授業概要	価値の本源は何か。	
探究活動ルーブリックとの対応 (該当項目に○)		
○	1. 課題発見力	自分なりの問題意識に根差した課題を発見することができる力
○	2. 課題設定力	目的を達成するためにはどのような情報が必要か認識できる力
○	3. 情報活用力	多面的で多くの情報を適切な方法で取得し、整理、比較し、差の有無や内容の正しさが判断できる力
	4. 協働力	チームで協力して様々な視点からの発想や意見を調整する力
○	5. 情報発信力	適切な表現方法を用いて発表できる力
授業展開	生徒の活動	
<p>1問1 ダイヤモンドや金はなぜ価格が高いのか? (なぜ、価値があるのか)</p> <p>2問2 富士山山頂の売店の商品が高いのはなぜか?</p> <p>3問3 1、2などから価値の源は何かを考える</p> <p>4 ここまでのまとめとして、モノの価格(価値)を決定づけるものは、それを生産するのに要した費用などであり、端的に表現すれば、生産に要した労働力の大小である、といういわゆる労働価値説を提示する。</p> <p>5問5 次に労働価値説では説明できない「例外」として、人気スポーツ選手の使用用具やサインボールの落札価格を提示。例えばマイケル・ジョーダンの使用したシューズがなぜ10億円以上の価格なのかを考えさせる。</p> <p>6 他の事例として、年末年始の宿泊施設の価格が高い理由もふまえて、理由を考えさせる。</p> <p>7 「高くても欲しいから買う」「欲しい人がたくさんいれば高くなる」などを提示。</p> <p>8 価値の大小は、「欲しい気持ち」=効用が決定する</p>	<p>1回答 希少性、欲しいからなど</p> <p>2回答 運ぶのがたいへんなど</p> <p>3回答 需要、供給などの語を使って答える生徒も複数いた。</p> <p>5回答 答えられる生徒は少なかったが、人気がある、ファンだから、などの回答</p> <p>6回答 文字にして回答できる生徒少ないが、2名ほど「高くても泊まりたいから」という回答あり。</p>	
備考	<p>身近な話題で、ふだん疑問に持たないような事柄に疑問を持ち、自分で考え、それを文字で的確に表現することをねらいつつ、回答時間が少なく記述できない生徒もいた。自分で考え答えることを主としたため、グループ討議をいれなかったが、自分の書いたものを発表しあって意見交換をする時間を設ければより良かったと思う。</p>	

単元・テーマ	課題発見プログラム② 地域観光×課題発見×企画立案	
授業概要	飯山市の観光と菜の花公園のひまわり開花時期の有効利用について	
探究活動ルーブリックとの対応 (該当項目に○)		
○	1. 課題発見力	自分なりの問題意識に根差した課題を発見することができる力
○	2. 課題設定力	目的を達成するためにはどのような情報が必要か認識できる力
	3. 情報活用力	多面的で多くの情報を適切な方法で取得し、整理、比較し、差の有無や内容の正しさが判断できる力
○	4. 協働力	チームで協力して様々な視点からの発想や意見を調整する力
	5. 情報発信力	適切な表現方法を用いて発表できる力
授業展開	生徒の活動	
○飯山市の観光の現状を知る 信州いいやま観光局提供 (関愛実様) のパワーポイントを用いて飯山市の観光の現状を伝える。	授業で得たキーワード、重要だと感じたこと・視点、自分の考えなどを‘いちいち’メモする。	
○飯山市の菜の花公園について、5月に開かれる「菜の花まつり」と連作障害の防止のために植えられているひまわりについて考察する。	個人ワーク → ペア共有 (1) なぜ春と夏に花を咲かせる」取り組みをしているのか。 (2) なぜ「菜の花まつり」と「ひまわり」では公園への来場者が異なるのか。 (3) 一般的に観光客が増加すると地域にどんなメリット/デメリットがあるか。	
○観光の視点から考える「ひまわり畑」の課題を一つ設定しよう。	・あなたが見つけた課題 ・なぜその課題が重要だと思ったか についてまとめる。	
○設定した課題に対して、それを解決するための観光企画を考える。	企画書を作成→提出 (→グループを作り、その中で共有しあって他者から意見をもらう→バージョンアップさせていく)	
○授業を通して学んだことなどアンケートを実施する。	Form への回答	
備考		
さらなる展開として、来場者数や地域への効果、経済効果などをシミュレーションしてみる。そのためにどんなデータが必要なのか、なければどのような形でデータを取得したらよいのかなど、企画実現に向けて学びを進めていく。(2年生の課題研究で扱ってみてもいいかも)		

課題発見プログラム ワークシート(地域観光 × 課題発見 × 企画立案)
1年()組()番 氏名()

【テーマ】

「菜の花公園 × ひまわり」でつくる新しい飯山観光の価値
—地域資源を活かし、持続可能な観光をデザインする—

○ 授業で得たキーワード・重要だと感じた視点・自分の考えなど“いちいち”メモしましょう！

【飯山の観光の現状】

飯山市の観光といえば？

なぜ観光を学ぶの？

現状は？

【菜の花公園の「菜の花まつり」と「ひまわり畑」についての考察】

(1) なぜ春と夏に花を咲かせる取り組みをしているのか？
→

(2) なぜ【菜の花】と【ひまわり】で来場者が異なるのか？
→

(3) 一般的に観光客が増えると地域にどんなメリット／デメリットがある？

メリット:

デメリット:

ひまわりを【地域価値】に
つなげるには？

【あなたが観光の視点から見る「ひまわり畑」の課題を1つ設定しよう！】

(例:来場者を増やす、若者向け発信、環境配慮、地域・市を巻き込む、収益モデル など)

あなたが見つけた課題:

なぜその課題が重要だと思った?:

【課題を解決するための観光企画を考えよう】

【企画タイトル】

【企画コンセプト】(どんな思いで企画したか、飯山らしさ/地域の魅力)

▼内容(何を・誰に・どのように)

【対象となる来訪者・ターゲット】(誰に来てほしい?その人たちのニーズは?)

【企画内容(イベント内容・体験内容・サービス)】(企画内容の説明、必要な準備・人員)

【PR方法(周知・広報)】(SNS / 地域連携・メディア / イベント など)

【収益・費用の見込み(キャッシュポイント)】(収益の仕組み、必要経費 / 協力依頼)

【想定効果】(来場者数目標、地域への効果、経済効果など)

【企画の価値を一言で!】あなたの企画は飯山にもたらす価値をまとめてみよう(30字以内)

飯山市ひまわりプロジェクト企画提案書(記入例)

【学校名・氏名】 長野県飯山高等学校 2年〇組 飯山 花子

【企画タイトル】 「ひまわり×写真×カフェで夏の飯山思い出展」

【企画コンセプト】

夏の飯山を、若い世代や家族連れに“思い出の景色”として残してもらおう。

写真映え+自然+スイーツで、長野の夏らしさを体験してもらおう企画。

【対象となる来訪者(ターゲット)】

・10代~20代の友達グループ、カップル

・家族連れ ※SNSで旅行先を決める層

【企画内容(イベント内容・体験内容)】

・ひまわりフォトスポット設置(ハート形、額縁、フォトブース)

・地元スイーツ＆冷たいドリンクのキッチンカー出店

・ひまわりブーケづくり体験(有料)

・フォトコンテスト開催(SNS投稿で参加)

【PR方法(周知・広報)】

・Instagramハッシュタグキャンペーン ・駅/道の駅でポスター掲示

・観光局 SNS と連携 ・地元高校生による動画制作

【収益・費用の見込み(キャッシュポイント)】

収益例: ・体験料(ひまわりブーケ1,200円) ・キッチンカー出店料

費用例: ・フォトブース費(木材・装飾など) ・SNS広告少額出稿(5,000円程度)

協力依頼: 資材提供・広報協力

【想定効果】

・来場者数: 1,500名 ・SNS投稿数: 300件

・家族層/若年層の来訪増 ・飯山の夏の観光認知度 UP

単元・テーマ	課題発見プログラム③	
授業概要	『古今和歌集』に触れてみよう	
探究活動ルーブリックとの対応 (該当項目に○)		
	1. 課題発見力	自分なりの問題意識に根差した課題を発見することができる力
	2. 課題設定力	目的を達成するためにはどのような情報が必要か認識できる力
○	3. 情報活用能力	多面的で多くの情報を適切な方法で取得し、整理、比較し、差の有無や内容の正しさが判断できる力
○	4. 協働能力	チームで協力して様々な視点からの発想や意見を調整する力
	5. 情報発信力	適切な表現方法を用いて発表できる力
授業展開	生徒の活動	
<p>(1) 導入・問題提起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『古今和歌集』の概要と、全部で一一一首の和歌が規則的に配列されていることを説明する。 ・和歌の配列の規則について仮説を立て、グループ・全体で共有する。 <p>(2) 仮説の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三首の和歌を提示し、仮説通りの順番になっているのかグループで検証する。 ・『古今和歌集』は時系列順で掲載されていることを確認する。 <p>(3) 実践・応用</p> <ol style="list-style-type: none"> ①和歌を四首提示し、配列順をグループで考え、全体で確認する。 ②「秋歌」に収められている和歌を四首提示し、配列順をグループで考え、全体で確認する。 ③「春歌」に収められている和歌を四首提示し、季節の移ろいに従った配列順をグループで考え、全体で確認する。 ④「恋歌」に収められている和歌を五首提示し、自分ならどのような配列にするかを理由と共に考え、全体で共有する。 <p>(4) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『古今和歌集』には植物や動物などの自然を詠んだ和歌が多く収められていることや、季節の移ろいに合わせた配列になっていることから、当時の人々が自然に強い関心を持っていたことを確認する。 ・和歌から当時の自然環境や人々の暮らしを読み解いたり、追体験したりすることができることを確認する。 	<p>(1) グループで意見を出し合い、考えを深めながら仮説を立てる。</p> <p>(2) 三首とも「鳥」が共通して詠まれていることに気づき、その鳥の姿や鳴き声が確認できる時期を調べながら確かめる。</p> <p>(3)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「植物」が共通して詠まれていることに気づき、それぞれの「植物」の時期を調べ、グループで話し合いながら配列順を考える。 ②同じ季節であっても、「紅葉の色づき初め→盛り→散る」というように、季節の移ろいに従って掲載されている点を確認しながらグループで話し合い、配列順を考える。 ③「桜」と「梅」の時期の違いに注目しながらグループで話し合い、配列順を考える。 ④どの要素に重きを置くのかを個人で考えた後、グループで共有する。 	
備考		

SSI 課題発見プログラム③

一年 一組 番 氏名

◎『古今和歌集』には全部で一一一首の和歌が収められているが、どのような順番で掲載されているのだろうか。

★仮説を立ててみよう！

★検証しよう！

13 花の香を風をたよりにたくへてぞ驚きそふしるへにはや

紀友則

(暖かな春風を手紙と)あか一面に漂う梅の花の香りをわれに添えそやてまたをみせぬ出ず案内として送らう

146 郭公鳴く声きけば別れにしふるさとぞ恋しかりける

よみ人しらす

(ほととぎすの鳴き声を聞いて)別れてしまたかの恋人が恋しくなると存てあの上地までもが涙かくなん

191 白雲に羽うちかはし飛ぶ雁のかずさへ見ゆる秋の夜の月

よみ人しらす

(高き雲を伴い大雁を連ねて)飛ぶ雁の姿を秋の夜の月に見えぬ

★結論 『古今和歌集』は () に従って配列されている。

◎実践してみよう！ 次のA～Dの和歌の配列順を考えよう。

A 雪ふりて年の暮れぬる時にこてつひにもみちぬ松も見えけれ
(雪がふり降りて)年の暮れははるかに初めの雪の風雪に耐え最後まで枯葉しなむ松ともわかぬ

よみ人しらす

B 女郎花吹きすぎてくる秋風は目には見えぬ香こそしるけれ

凡河内躬恒

(女郎花の咲く秋風を)吹きすぎてくる秋風を、我々は目には見えないが、その香りが女郎花の土を吹いてきた証である

C 吉野川岸の山吹く風にそのかけさへ移ろひにけり

紀貫之

(吉野川の岸の山吹は)風に吹かれて散つしましたが川底に沈んでいる花影も散つてしまった

D 心あてに折らばや折らむ初霜の置きまどはせる白菊の花

凡河内躬恒

(もし手折るならば、当てずば折らむ)一度初霜が降りて区別なくなっている白菊の花を

★配列順 () () () ()

◎中級編 次のA～Dの和歌の配列順を考えよう。

A 秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞわどろかれぬ

藤原敏行朝臣

(ああ秋が来た)目には見えねども風ははるかに聞こえぬ音が風を耳にすれば、自ら折らば折らむ秋の訪れを感じず

B 白露も時雨もいたくもる山は下葉の(こす色)きにけり

紀貫之

(山で下葉の)名のように、白露も時雨もすっかり濡れて草木にみかたして、おかげで、下葉は秋葉すじたく、全山に紅葉の景観がある

C 秋風にあへず散りぬるもみぢ葉のゆくへさだめぬ我ぞかなしき

よみ人しらす

(冷たい秋風に)運ばれぬ散る紅葉はどてらう葉のゆくへさだめぬ、それをみて、われが身の行く末だて悲しいとまわらないのか

D いとはやも鳴きぬる雁か白露の色どる木々もみぢあへなく

よみ人しらす

(これは早くから鳴き始めた雁だ)白露の色どる木々もみぢあへなく、それは早くから鳴き始めた雁だ、白露の色どる木々もみぢあへなく

★配列順 () () () ()

◎上級編 次のA～Eの和歌の配列順を考えよう。

A 見わたせば柳をこきまて都ぞ春の錦なりける

素性法師

(はるかに眺望すると)緑の柳と紅の桜をよこした錦なりして、この平安の都そのものが春の錦を敷き延ばした

B うつせみの世にも似たるか花ぞくらくと見しまにかつ散りにけり

よみ人しらす

(はるか昔の)世にも似たるか花ぞくらくと見しまにかつ散りにけり

C 散りぬとも香をだにのこせ梅の花恋しきときの思ひてにせむ

よみ人しらす

(花は散ってしまつても)せめて香なりと枝に残しておいて、梅の花が恋しきときは思ひてにせむ

D 雪のうちに春は来たりけり、鶯のこぼれる涙今やとくらむ

二条后(藤原高子)

(雪はまだ残っている)春が来るとはよく、鶯の涙は寒さに凍りかたれも今を解けることをうらやま

E 君ならて誰にか見せむ梅の花色をも香をもしる人ぞしる

紀友則

(あなた以外の誰にも)見せぬ梅の花の色と香りを、君ならて誰にか見せむ梅の花色をも香をもしる人ぞしる

★配列順 () () () () ()

◎普及編 次の和歌A～Eを、あなたならどのように配列するだろうか。理由とともに考えよう。

A 春霞たなびく山のさくら花見れども飽かぬ君にもあるかな

紀友則

(春霞がたなびく)山の桜はよく見ても飽かぬ君にもあるかな

B 秋風に山の木の葉の移ろへば人の心もいかにぞ思ふ

素性法師

(秋風)山の木の葉の移ろへば人の心もいかにぞ思ふ

C 我がみぞかなしかりける彦里も逢はずせし年しなけれは

凡河内躬恒

(心な悲し)恋せし彦里も逢はずせし年しなけれは

D 今ほとて君が離ればわが宿の花をばひとり見てや偲はむ

よみ人しらす

(これが最後だ)今ほとて君が離ればわが宿の花をばひとり見てや偲はむ

E 山ざくら霞の間よりほのかにも見てし人こそ恋しかりけれ

紀貫之

(きれいな)山ざくら霞の間よりほのかにも見てし人こそ恋しかりけれ

★配列順 () () () () ()

★理由

() () () () ()

単元・テーマ	課題発見プログラム⑤	
授業概要	プログラミング(フォーム作成)を活用した課題発見学習	
探究活動ルーブリックとの対応 (該当項目に○)		
○	1. 課題発見力	自分なりの問題意識に根差した課題を発見することができる力
○	2. 課題設定力	目的を達成するためにはどのような情報が必要か認識できる力
○	3. 情報活用力	多面的で多くの情報を適切な方法で取得し、整理、比較し、差の有無や内容の正しさが判断できる力
○	4. 協働力	チームで協力して様々な視点からの発想や意見を調整する力
○	5. 情報発信力	適切な表現方法を用いて発表できる力
授業展開	生徒の活動	
<p>(1) 導入 5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を提示する。 ・身近な課題に気づくことの重要性を説明する。 <p>(2) 展開 I (個人・グループ・フォーム作成) 40分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で気になること・調べたいことを5つ以上あげ、ワークシートに記入する。 ・気になることをグループで共有し、1つのテーマに絞る。 ・テーマを調べるにあたり、解答しやすいアンケートをフォームで作成し、URL を提出する。 <p>(3) 展開 II (アンケート回答・結果分析) 30分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展開 I で他グループの作成したアンケートを3つ選び、回答する。 ・グループで作成したアンケート結果を確認し、分析する。 <p>(4) まとめ・発表 15分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで調査したアンケートとその分析結果を発表する。 ・結果から次の問いへの見通しを立てる。 	<p>(1) 身近にある課題を理解する。</p> <p>(2) 身近にある疑問点や興味関心のあることを想起し、言葉に表す。 各自で関心のあることをグループのメンバーに共有する。 フォーム作成にあたり、どのような質問が適切か考える。</p> <p>(3) アンケート結果から得られた棒グラフや円グラフより結果を考察する。 結果から気づいたことや次の新たな問いを見つける。</p> <p>(4) 他グループの調査結果を聞きながら、自分たちの新たな問いを見直す。</p>	
備考		

「プログラミング（フォーム作成）を活用した課題発見ワークシート」

1組（ ）番 氏名（ ）

【1】個人ワーク:気になる身近な問題を書き出そう(5つ以上)

あなたが普段、「ちょっと気になる」「困っている」「みんなはどう思うんだろう?」と思うことを書き出してください。

- 1.
 - 2.
 - 3.
 - 4.
 - 5.
-

【2】班でテーマを選ぼう(1つ)

班のメンバーで話し合い、今日はどのテーマにするか決めよう。

班のテーマ:

テーマを選んだ理由:

【3】アンケート(Google フォーム)を作ろう

※ 質問は 3 問以内、答えやすさを最優先!

▼質問案(下書き)

Q1(5段階・選択式) :

Q2(5段階・選択式) :

Q3(自由記述 ※任意) :

【4】フォームの URL を書こう(班代表が作成)

完成したフォームの URL(コピー)を記入:

URL:

※この URL は、後で先生が一覧にまとめてクラスに配布します。

【5】2 コマ目:ほかの班のアンケートに答えよう(3つ以上回答)

「URL 一覧」から、自分で選んだ 3 つ以上のアンケートに回答 してください。

【6】班のアンケート結果を見て分析しよう

Google フォームの自動集計(棒グラフ・円グラフ)を見ながら、班で話し合おう。

▼最も多かった回答

▼少なかった回答

▼その理由は？(推測)

▼課題としてどう考えられるか？

▼次に調べたいこと(新しい問い)

【7】まとめ(1分発表の内容)

(1)班のテーマ

(2)気づいたこと(データから見えたこと)

(3)今後の調査につながる新しい問い

単元・テーマ	課題発見プログラム①～⑤ 振り返りまとめ	
授業概要	課題発見プログラム①～⑤で行った授業の振り返りを行い、まとめた成果物を仲間と共有する。 これまでの探究学習や、課題発見プログラムを通して見つけた「課題の種」を書き出す。	
探究活動ルーブリックとの対応 (該当項目に○)		
○	1. 課題発見力	自分なりの問題意識に根差した課題を発見することができる力
	2. 課題設定力	目的を達成するためにはどのような情報が必要か認識できる力
	3. 情報活用力	多面的で多くの情報を適切な方法で取得し、整理、比較し、差の有無や内容の正しさが判断できる力
○	4. 協働力	チームで協力して様々な視点からの発想や意見を調整する力
○	5. 情報発信力	適切な表現方法を用いて発表できる力
授業展開		生徒の活動
<p>○課題発見プログラムで行った内容の振り返り</p> <p>(i) 授業の内容を簡潔にまとめる</p> <p>(ii) 印象に残っているワードやセンテンスを書き出す</p> <p>(iii) 「学んだこと」「気づいたこと」「発見」と感じたことを書き出す</p> <p>○グループ発表(1人4分×人数) タイムキーパーは授業者</p> <p>発表者はまとめた内容のうち、(ii)・(iii)について発表を行う。</p> <p>聞き手は発表内容を記録する。特に自分にはない視点や考えがあれば記す。</p> <p>○Googleform を用いて総合的な振り返り及び、意識調査を行う。</p> <p>○課題発見プログラムやこれまでの様々な探究活動、普段の生活などを通して、「課題」「問い」「面白い」「気になる」「発見」「好き」「興味」のキーワードたちに連想されるようなワードやセンテンスを書き出す。その後、書き出した内容をグループ内で共有。</p>		<p>生徒は4～6人のグループを作成し、授業で用いたプリントや各授業後に行った Googleform での回答内容、グループ内での情報共有をもとに振り返りを行う。</p> <p>発表を行う。記録を取る。</p> <p>時間が許す限り質問等を行う。</p> <p>Googleform への回答を行う。</p> <p>これまでをさらに振り返りながら課題の種を書き出す。</p> <p>グループ内で共有する。</p>
備考		
成果物として、まとめたシート(Google ドキュメントで作成)を課題として提出する。		

課題発見プログラム まとめワークシート 1年 1組()番 氏名()

本日の授業の目的

「課題発見プログラムを通して得た視点から、『自分が興味を持てる課題の種』を見つける」

① まずは課題発見プログラム①～⑤について振り返ろう。(5分×5授業)

【10/30 経済とお金の関係 渡邊 智先生】

・授業の内容を簡潔にまとめましょう

・印象に残っているワードやセンテンスはありますか

・「学んだこと」「気づいたこと」「発見」と感じることは

【11/6 飯山市の観光とひまわり畑 山崎 皓先生】

・授業の内容を簡潔にまとめましょう

・印象に残っているワードやセンテンスはありますか

・「学んだこと」「気づいたこと」「発見」と感じることは

【11/13 古今和歌集に触れてみよう 花戸 風美先生】

・授業の内容を簡潔にまとめましょう

・印象に残っているワードやセンテンスはありますか

・「学んだこと」「気づいたこと」「発見」と感じることは

【11/13 音を使ってできること 久保 美幸先生】

・授業の内容を簡潔にまとめましょう

・印象に残っているワードやセンテンスはありますか

・「学んだこと」「気づいたこと」「発見」と感じることは

【11/27 アンケートと集計 山田 琢己先生】

・授業の内容を簡潔にまとめましょう

・印象に残っているワードやセンテンスはありますか

・「学んだこと」「気づいたこと」「発見」と感じることは

読み終わったら

② グループ内で、(i)印象に残っているワード・センテンス、(ii)「学んだこと」「気づいたこと」「発見」と感じること、の2つのテーマについて共有してみよう。(1人あたり4分×4or5人)

【他の生徒が共有したことを記入しよう】

・印象に残っているワード・センテンス

・「学んだこと」「気づいたこと」「発見」と感じること

③ Google classroom の form でまとめアンケートに回答してください。

④ 今回のプログラムや探究の時間で活動してきたこと、これまでの学習などを通して、「課題」「面白い」「気になる」「発見」「好き」「興味」などのキーワードに関連するようなワードやセンテンスを書き出してみよう!

⑤ まわりの生徒と共有しあってみよう。また、記し残しておきたいものは書いておきましょう。